信州アルプス大学

春プス

信州アルプス大学だより・春

嗚呼…男なら
スプーンのひとつと
曲げてみたい。

…という熱い思いで(？)
男性陣が挑戦した
「マジック入門ワークショップ」
の様子は中面で！

季刊フリーニュースペーパー
《信州アルプス大学だより》2017春号／vol.5
2017年3月15日発行
企画・発行／信州アルプス大学　**www.alps-univ.net**
［Tel］080-6937-4937　［Mail］shinshu@alps-univ.net

本紙掲載の写真、イラスト、記事の無断転載・複写を禁止します。

信州アルプス大学のいろいろな話題を集めました！

プス大 Topics

新メンバー募集中！ タドキスト倶楽部にGo !!

プス大のサークルとして活動中の「信州タドキスト倶楽部」では、2017年度の新メンバーをただいま募集中とのこと。そもそも“タドキスト”って何？というナゾを明らかにするため、とある日の活動にお邪魔してみました！

相手を変えながらの
Small Talk は
どんな話題でも
OK！

マイケルの名曲
“Heal the World”を
歌ってみてから
歌詞に出てくる単語などの
意味を考えます

お茶とお菓子で
コーヒーブレイク♪

英語で出されたお題を当てる
お絵かきゲーム！
単語はわかっているのに
絵がわかってもらえない…
なんてことも！

Let's Join Us !!

代表
久納朋子さん

「多読」＋istでタドキスト。洋書をたくさん読んで“英語脳”をつくるのが目標ですが、読書だけではなく今回のようなゲームや会話、洋楽カラオケなどいろいろな手段で、つらくない英語習得を目指します。不安のある方は一緒に方法を考えますので、いつでも見学・体験にお越しくださいね！
とにかく楽しく!がモットーの倶楽部。英語に興味がある方なら年齢、性別、英語力問わず大歓迎です！

活動日時／**毎週木曜日10:00～11:30**
場所／**えんぱーく内会議室**　参加費／**1回500円**
詳しくは…**プス大ホームページ**（「サークル」カテゴリーへ）
または**代表・久納さん　080-6937-4937**

これからの予定のご案内です。詳しい内容はホームページをごらんください。

これからの授業・講座・イベント

3/25(土) 地域の魅力、再発見！ ～塩尻景観さんぽ 4

塩尻の中心市街地は、知っているようで知らないことも多いものです。目的もなくふらふらと歩くだけでも、新しい発見や気づきがあります。景観さんぽしながら、参加者の皆さんと共に地域を楽しみ、地元を知ることや季節ごとの魅力、景観等について体感します。地域の魅力を再発見したり、昔の懐かしい風景にも出会えるでしょう。

今回は座学講座の２回目として、塩尻の建築や文化を専門家の解説で学びます。**要参加費**

4/15(土) 市長が先生 ～地方創生と市民活動

新年度第1回目の授業は、先生に、塩尻市の小口利幸市長をお迎えします。塩尻市が積極的に取り組んでいる地方創生と市民活動を絡ませてのお話を伺います。（本授業は塩尻市共催、えんぱーくを活用した交流企画事業として開催します）**申し込み不要・参加費不要**

時期未定 ハイブリッドボディを目指す！ プロレス式エクササイズ進化版

「ウエストを引き締める」を目標として、去年4月からの連続講座で参加者の皆さんに大反響だった《プロレス式10カウントエクササイズ》が、進化して再び開講予定！
効率よくカロリーを燃やせる“ハイブリッド”で健康なカラダづくりを目指して、元プロレスラーの講師が、確かな結果の出るエクササイズを教えます！
要参加費

2017年度もプス大ではさまざまなジャンルの授業・講座を企画します！ お楽しみに★

上記の授業・講座の詳しい情報と
申し込み方法は、ホームページでチェック！
www.alps-univ.net

Student identification card 見本 www.alps-univ.net 信州アルプス大学
学生証見せておトク！

学食・生協得ガイド

学生限定サービスがある協賛店です。
学生証を持って出かけよう！

ファミリー割烹
ゆたか
Family Kappoh YUTAKA

驚くほどやわらかな馬肉に舌鼓！ 定食が充実、地元で愛される食事処

味のよさ＋家庭的な雰囲気で愛されるお食事処。やわらかな歯ごたえにビックリ、濃いめの特製ソースが合う「馬ステーキ」や、馬刺し、馬もつ煮など、ゆたか自慢の馬肉料理は太鼓判のおいしさ！ 豚ヒレカツなど揚げ物はオリジナルの自家製ごまソースと一緒にどうぞ。定食をメインに、丼、麺類などメニューは豊富！ 地酒、塩尻ワインもそろいます。

塩尻市大門並木町1-10
0263-52-5040
営業時間／
　ランチ11:30～14:00（L.O.13:30）
　夜営業17:00～22:00（L.O.21:30）
定休日／日曜日

★限定特典★　プス大学生証をご提示で…
お食事ご注文の方に
ソフトドリンクをサービス！
（ご本人のみ・他サービスとの併用不可）

編集後記

授業レポートにもありますが、先日わたくし講師デビューさせていただきました。定員いっぱいのご参加というまさかの反響。関心の高さを感じました。90分話し続けるのはなかなか大変。「話す」のも「書く」のと同じで、ポイントをしっかり押さえないと伝わらなくなりますね。資料の構成も大事な要素です。あとは私が不得手な“スマイル”が課題かなぁ。人前に出る機会が増える予定の今年、笑顔の練習がんばろう…。（広報担当・編集長きたはら）

次号「夏プス」は
6月15日発行予定です（年4回発行）

授　業　レ　ポ　ー　ト

▶さらに詳しいレポートは、プス大ウェブページでご覧ください。

＃035　12月17日

地域の魅力、再発見！ ～塩尻景観さんぽ 3

清水宏先生から、景観とは何か、塩尻にある歴史的建造物などについての講義を聴きながら、いったい何が心地よい街、景観なのかについて考えました。一つ一つの建物は点ですが、それが合わさった景観は面であること。その景観を形作るには、住民の協調性や公共性が絡んでくるなど、そう簡単ではありません。しかし、少なくとも周りを不快にしないことは大切で、普段から景観にもっと関心を持つことも大切だと感じます。フィールドワークを2回行った後の座学は、これまでの景観散歩を振り返るよい機会でもありました。（レポート：中村）

＃036　12月17日

2時間で魔法使いになれる？ マジック入門ワークショップ

大学生にしてすでにマジック歴13年、RYOMA先生のマジック入門。参加された方は、全く初めてからマジック経験のある方などさまざま。ワークショップが始まる前からコミュニケーションがあり、場が和んだ中でスタート。まず先生が、軽快＋突っ込みどころのあるトークとともに、文字通り“魔法”に見える素敵なマジックを披露。「カップ&ボール」「カード当て」、急きょメニューに加えた「スプーン曲げ」を学びました。3グループに分かれ、先生の解説と練習です。皆さんどのマジックにも興味津々で、隣のグループの話を聞いたり、あれこれ言いながら練習してと、楽しく和気あいあいとした雰囲気。最後に参加者代表の方からカップ&ボールのマジックを、トークとともに披露してもらい、大拍手で締めくくりました。

最後に先生からマジックを成功させるコツについて。技術ももちろんだが、最初のつかみで決まるとのこと。お客さんとコミュニケーションできるようになってスタートすれば（たとえマジックはいまいちでも!?）そのショーは成功ではとの言葉。マジックだけでなく、大勢の前で何かやるときにも使えそうですよね。とっても楽しく、そして為になるワークショップでした。（レポート：竹内）

＃037　1月21日

あなたの文章をレベルUPする 4つのプロ技（スタートアップ編）

プロの編集者・ライターである北原華子さんから、伝わる文章を書く基本を学びました。ユニバーサルコミュニケーションデザイン協会による、書き方の評価項目である９つのポイント（表記、語彙、敬語、文法など）について説明。それから北原さんによる、４つの基本ワザと、ご自身が心掛けているテクニックを披露いただきました。特に強調されていたのは、文章はとにかく短く書くということ。改めて聞くとどれもなるほどと納得できることですが、果たして普段それらを意識して書いているのか、改めて自分の文章を見直す機会になりました。（レポート：宮澤）

講師からひとこと

マジシャンRYOMAこと原 怜磨さんにインタビュー！

―今回の講座を終えての感想は？

マジックを“教える”経験はまだ多くなく、非常にいい勉強になりました。普段教えるのとは違う年齢層でしたしね。「どう伝えればできるようになるのか」「ワークショップをどう構成したら満足度高く帰ってもらえるか」など、今後、企画を改善していく上で必要な気づきがあったと思います。

―原さんが考えるマジックの魅力とは？

言葉がいらない。老若男女誰とでもコミュニケーションができる。それと、人を驚かせて楽しませることも好きなので、魅力の一つじゃないでしょうか。

―“第2弾”はありますか？

ぜひ次回も、より満足度が高くなるように開催したいですね。併せて自分の活動にもつなげていきたいです。「マジックに興味があるけど、機会がなくて覚えられなかった」という方はぜひ！

2月26日

信州アルプス大学開校1周年記念 特別講演会

先月でプス大開校から1周年となったのを記念し、講演会を行いました。一般ゲスト20名以上とスタッフがお話にじっくり耳を傾けました。

一人目はNPO法人「日本アーティスト協会」代表理事の宇田川哲男さん。“ガリバー宇田川”のアーティスト名で、歌手、ラジオパーソナリティーなど多彩な活動をされています。信州との縁ができたきっかけは、長野技能五輪・アビリンピックのサポートソングに自身の曲が採用されたこと。「でもここに至るまでは本当に紆余曲折があった」と話します。幼児期の事故で体に障害を負いながら、好きな音楽でメジャーデビューの夢まで叶えたものの、その後は失敗、挫折の連続。その経験が元になり、アーティスト協会の設立へ。「アーティストがもっと日常に存在し、必要とされる文化を創りたい。アーティストが異業種をつなげ、社会の課題を解決する力になりたい」という思いでNPOを立ち上げた宇田川さん。自分自身のリアルな経験と思いをさらけ出したお話は心を揺さぶりました。

「アーティストという存在を、若者が夢を持てる職業に」と語った宇田川哲男さん

二人目はｆａｂスペース「hana-re（ハナレ）」を4月に岡谷でオープンする浜元氣さん。ファブスペースとは言うなれば“ひらかれた、まちの工作室”。ここ数年でこういった施設が全国にオープンし、中信エリアで初めてとなるのが「hana-re」とのこと。内部の設備や工作機械などの写真を見せながら、「ハナレではあらゆるものをつくることができる」と浜さん。「hana-re」を開くにあたって、首都圏や、遠く台湾のファブスペースを視察に行った時の写真もたっぷり見せていただきました。まだなじみがない“だれでも使えるものづくり拠点”、ファブスペースという存在ですが、「つくることに気付き、自分で、だれかと協力してつくることが自然になったら、楽しい暮らしになるのでは。“買う”のほかに“つくる”という選択肢を皆さん考えてもらえたらと思います」と結んだ浜さんでした。

レーザーカッターで精密に切り抜いた布地を手にする浜さん

講演後、学長中村が「学校案内」パンフレットに沿って学校説明をし、会を終わりました。プス大のイベントに初参加の方もいたようで、スタッフ一同、無事に1周年記念の節目を越えられホッとしました。（レポート：北原）

信州アルプス大学に参加してみませんか？

プス大は市民による市民の大学。参加する方法もいろいろ。興味を持ったらまずはホームページへ！

学生

授業へ参加するには学生登録が必要です（オープン講座除く）。登録はいつでもホームページで受付中です。登録料なども不要。協賛店でサービスが受けられる学生証も発行します。まずは登録だけでもOK！

先生

授業を受け持つ「先生」になって、光るスキル、培った経験、共有したいアイデアなどを、興味を持つみなさんに伝えませんか？授業化にあたっては、授業コーディネーターがしっかりサポートします！

スタッフ

プス大の運営をお手伝いしてくれるスタッフも募集中。授業コーディネーター、授業サポーター、ホームページ運営、メルマガ作成、フリーペーパー作成、運営資金管理など、やることはいろいろです。

協賛店

学食や生協として提携していただくお店を募集しています。学生証を提示された方に何らかのサービスをご提供ください。ホームページや学生向けメールマガジン、当ペーパーで、お店をPRいたします！